

「異分野融合による方法的革新を目指した人文・社会科学研究推進事業」進捗評価結果表

研究テーマ(領域)	手話コミュニティにおける遠隔コミュニケーション環境の提案	
研究総括	坊農 真弓	
所属機関・部局・職	情報・システム研究機構国立情報学研究所・コンテンツ科学研究系・助教	
評価区分		
	A	研究期間の延長により、優れた進展が期待できる。
	B	一層の努力を要するが、研究期間の延長により、今後の進展が期待できる。
	C	研究期間を延長しても、十分な進展は期待できない。
評価にあたっての意見		
<p>適切な研究組織の構築及びこれまでのデータ収集の努力については評価できる。しかしながら、実験自体に手探りの部分が多く、研究成果に片寄りがあり、異分野融合という角度からの成果や独創性が高いとは言えない。</p> <p>ろう者の側のニーズの高さは理解するが、研究者の側の研究戦略が揺れていて、安定した方向が見えていない。また、研究目的の「手話コミュニティの遠隔コミュニケーション」のためには、遠隔の定義、および遠隔コミュニケーションでない場合の手話コミュニティとの相違など、基本的な概念整理を必要とすると思われるが、その点を未分化のままに進められてきたようである。</p> <p>今後は、実現の可能性に配慮しつつ、研究手法・研究目的について、有効性を保持しながら明確化していただきたい。また、メンバー間のコミュニケーション、収集したデータの整理及び解析を工夫していただきたい。</p>		